

第3次前橋市食育推進計画 ～元気 まえばし 食育プラン～

食育事業実績シート



令和2年度

～下半期～

令和3年2月17日

食育事業シートについて

「第3次前橋市食育推進計画」に基づき、関係各課等で様々な食育に関する事業を実施しています。

以下の4つの基本目標を柱とし、「市民の健康寿命の延伸」を全体目標としています。

- 1 生涯健康なからだを「つくる」
- 2 豊かなところを「はぐくむ」
- 3 地域の食文化を「つたえる」
- 4 食の安全・安心を「まもる」

各課の事業を、4つの基本目標ごとにまとめました。

もくじ（基本目標別）

生涯健康なからだを「つくる」

34事業

【子育て支援課】（14）

1歳6か月児健診.....	1
2歳児健康相談.....	2
3歳児健診.....	3
おくちげんき教室.....	4
すこやか健康教室.....	5
ステップアップもぐもぐ教室.....	6
にこにこ健康相談.....	7
プリミークラブ（未熟児親の会）.....	8
プレママクラス.....	9
窓口健康相談.....	10
電話相談.....	11
訪問栄養指導.....	12
離乳食講習会.....	13
オンライン教室.....	14

【長寿包括ケア課】（6）

訪問栄養指導.....	15
元気プラス+講座.....	16
健康教育.....	17
噛む力をはぐくむ教室.....	18
各種介護予防教室.....	19
介護予防サポーター養成研修・活動支援.....	20

【国民健康保険課】（2）

特定健診後の情報提供.....	21
特定保健指導.....	22

【健康増進課】（12）

からだに美味しい食講座.....	23
前橋市食生活改善推進員協議会事業 （2事業）.....	24～25
まえばし健康づくり協力店.....	26
食環境整備事業.....	27
ウエルネス通信.....	28
若い世代への食育（4事業）.....	29～32
食育新聞.....	33
歯科保健事業（成人歯科健康診査等）.....	34

豊かなこころを「はぐくむ」

2 1 事業

【社会福祉課】（1）

まえばしフードバンク事業.....35

【教育委員会総務課】（1）

給食時の学校訪問54

【子育て施設課】（2）

お便り・レシピの配布.....36

お楽しみメニュー・おやつの実施.....37

【浄水課】（1）

敷島浄水場・施設見学における
水道水への理解55

【健康増進課】（6）

「食育の日」の推進.....38

前橋・高崎連携事業 食育推進事業..39

まえばし食育の森.....40

食育パネル展.....41

健康のしおり.....42

食育動画.....43

【ごみ減量課】（1）

ごみ減量普及啓発事業.....44

（第2次G活チャレンジ！）

【生涯学習課】（5）

子育て・親子支援事業.....45

食育パネル展（4事業）46～49

【学校教育課】（4）

給食時の学校訪問.....50

「食に関する指導」情報交換会.....51

食育集会.....52

生徒集会.....53

地域の食文化を「つたえる」 1 1 事業**【生活課】(1)**

地域づくり協議会が行う	
食育関連事業	56

【観光振興課】(2)

T-1 Presents TONTON Go とん	
チャレンジの開催	57
TONTON のまち前橋グルメブックでの周知	
加盟店の普及	58

【農政課】(3)

郷土料理講習会	59
赤城の恵ブランド推進事業	60
伝統野菜づくり事業	61

【健康増進課】(2)

農政課と連携した食情報発信	62
前橋産の農畜産物を使用した	
レシピ集の作成	63

【教育委員会総務課】(3)

食に関する情報提供	64
地産地消の推進	65
行事食と郷土食の提供	66

食の安全・安心を「まもる」 2 事業**【衛生検査課】(2)**

給食施設巡回指導及び研修会	67
食品衛生講習会	68

事業実績シート

取組の名称		1歳6か月児健診（個別健診）		<u>担当課 子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704	
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	幼児初期の身体発育、精神発達の面で歩行や言語等発達の標識が得られる1歳6か月の時点において健康診査を実施することにより、運動機能、視聴覚等の障害、精神発達の遅滞等障害をもった児を早期に発見し、適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、幼児の栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ります。			
	対象者	満1歳6か月児以上			
	実施方法 内 容	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に限り、個別健診として実施 1 医師の診察による疾病の早期発見、発達の確認 2 歯科医師の口腔健康診査 3 保健師の保健指導 4 歯科衛生士の口腔衛生指導 5 管理栄養士の栄養指導 6 心理士の心理相談 相談内容に応じて個別に対応 問診票等で心配や困りごとがある方、医師、保健師が栄養相談の必要性和判断した方に対し、個別で相談を実施します。栄養に関する資料を配布しています。保護者の相談内容に応じた支援を行うとともに、1歳6か月の頃の食事摂取量・食事のバランス、牛乳・乳製品の摂取、おやつに関する情報提供を行います。			
	連携団体等	前橋市医師会、前橋市歯科医師会			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期（予定）	
		実施日：7月～9月 回 数： 人 数：栄養相談143件		実施日：10月～3月 回 数： 人 数：栄養相談121件 （11月受診者まで）	
	期待される 効果等	栄養相談では、食事の摂取量、食事・栄養バランス、おやつの回数や内容、食事で気になることなどについて確認の電話相談をしています。 1歳6か月の頃は離乳食の完了の時期で、発育、発達段階に応じた望ましい食生活となるように実践を伴う内容を勧めるとともに、保護者へは生活リズムの基礎づくり（早寝、早起き、朝ごはん）の重要性の普及、啓発に努めています。また、保護者自身の食事も含めて、家族全体の食事の大切さを伝えています。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）				

事業実績シート

取組の名称		2歳児健康相談	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	新型コロナ感染拡大防止のため、2歳児歯科健診を健康相談として完全予約制で実施しています。幼児初期のむし歯の予防が大切な時期に疾病または異常の早期発見、歯科衛生士による集団の歯科講話を行い、また、発達、発育について保健師等による個別指導や相談を行い、幼児の健康の保持及び増進を図ることを目的とします。	
	対象者	満2歳児	
	実施方法 内 容	相談内容により時間帯を分けて予約制で実施します。 ・ 歯科衛生士の集団歯科講話、口腔衛生指導 ・ 保健師の保健指導 ・ 管理栄養士の栄養指導 ・ 心理士の心理相談 栄養相談の対象者全員に生活リズムやおやつ、飲み物に含まれる糖分についての資料を配布しています。フードモデルや配布資料を使用し、2歳児の食事の留意点を伝えます。	
	連携団体等		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 （4月～8月まで中止） 回 数：2回 人 数：栄養相談6件	下半期 実施日：10～3月 （12月までの実績） 回 数：6回 人 数：栄養相談7件
	期待される 効果等	栄養相談内容は、食事の摂取量、食事や栄養バランスについて、牛乳・乳製品の量、野菜嫌い、偏食、メニュー、間食についての項目が多い傾向でした。悩みに応じた配布資料やレシピ提供を行い、不安や悩みの軽減を図ります。 お口や歯の発育、発達に合わせた食材や調理法から、噛めるようになることで「自ら食べる意欲」にもつながること、また、生活リズムの基礎づくり（早寝、早起き、朝ごはん）の大切さやむし歯予防を含めた間食の役割等を保護者にお伝えしています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

事業実績シート

取組の名称		3歳児健診		担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	幼児期において幼児の健康、発達の個人的差異が比較的明らかになり、保健・医療による対応の有無が、その後の成長に影響を及ぼす3歳児のすべてに対して健康診査を行います。新型コロナウイルス感染症の予防から1日の対象人数を少なくして実施しています。 視覚、聴覚、運動、発達等の心身障害、その他 疾病及び異常を早期に発見し適切な指導を行い、心身障害の進行を未然に防止するとともに、むし歯の予防、発育、発達、栄養、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、もって幼児の健康の保持及び増進を図ります。			
	対象者	満3歳児			
	実施方法 内 容	1 医師の診察による疾病の早期発見 2 歯科医師の口腔健康診査、身体及び精神面の発育状況の確認 3 保健師の保健指導 4 歯科衛生士による口腔衛生指導 5 管理栄養士の栄養指導 6 心理士の心理相談 栄養相談に関しては、栄養指導を希望する者、医師・保健師が栄養相談の必要性を判断した方に対し個別で相談を実施。視覚的にわかりやすいようにフードモデルを使用した説明を行い、相談内容に応じた資料を使用します。			
	連携団体等	前橋市医師会、前橋市歯科医師会、歯科衛生士会、前橋市保健推進員協議会			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：9月（4月～8月は中止） 回数：6回 人数：11件	下半期（予定） 実施日：10月～3月（12月までの実績） 回数：18回 人数：78件		
	期待される 効果等	相談内容は食事の摂取量、間食、食事・栄養バランス、野菜嫌い、嗜好飲料、小食、むら食いについての順に多い傾向です。食品やお手伝いに興味を持ち、食育を始めるいい時期なので、食育につなげています。むし歯がある子どもに対して菓子類や嗜好飲料の摂取についての相談もあります。 好奇心や理解度をひろげるこの時期に様々な食に関わる体験の環境を整えることで「食への意識」が養われ、「食を営む力」の基礎がつけられるということを保護者に認識してもらうことが重要です。 3歳児健診は、栄養士が関わる乳幼児期の最後の健診となるため、実物大のフードモデルの展示を行い、食事量やおやつの量の確認をしてもらい、健康的な食生活を送れるよう支援しています。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 			

事業実績シート

取組の名称		おくちげんき教室		担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704	
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	保育所（園）、幼稚園、認定こども園の年少から年長の園児への正しい歯科知識の普及と歯磨きの習慣づけ、保護者や保育士に対して歯科衛生の意識と家庭での管理を高めさせることを目的に歯科指導を行います。			
	対象者	保育所（園）、幼稚園、認定こども園の入園児、保護者、職員、子育て支援センター利用の乳幼児及び保護者			
	実施方法 内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施 1 開催場所 市内各保育所（園）・幼稚園・認定こども園 子育て支援センター 2 従事者 歯科衛生士1～2人 必要に応じ保健師等（地区担当中心） 3 実施内容 紙芝居・エプロンシアター・おくちの体操・歯磨き指導（赤染め含む・未満児なし）・パンフレットの配布等、1クラス30分程度の講話と演習を行う。また保護者に仕上げ磨きの指導を行います。			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：7月～9月 回 数：4回 人 数：225人		下半期（予定） 実施日：10月～2月 回 数：8回 人 数：654人（12月までの実績）	
	期待される 効果等	口腔疾患は全身疾患に繋がることから、乳幼児期の口腔衛生に対する意識を高めます。 また毎食後の歯みがき、仕上げみがき、おやつの摂り方の周知をし、むし歯予防の知識を高めます。 かかりつけ歯科医院を持つことの重要性を乳幼児、保護者、保育士に周知していきます。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	 			

事業実績シート

取組の名称		すこやか健康教室		担当課 <u>子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	妊産婦および乳幼児に対して、地域に出向き必要な指導および助言を行い、母子保健に関する知識の普及及び食育の推進を行います。			
	対象者	保育所（園）・育児サークル・自主グループ・地域の親子の集まりなど、親子に関する情報等を希望する団体			
	実施方法 内 容	団体より依頼を受け、保健師、管理栄養士、保育士、歯科衛生士などの専門職が希望するテーマに合わせ、講話や個別相談を実施します。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施。 個別相談は行わず、質問がある場合は電話で対応。 栄養士が関わった件数6～11月計7回			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期	
		実施日：6月～9月 回 数：4回 人 数：99人		実施日：10月～3月（12月までの実績） 回 数：3回 人 数：36人	
	期待される 効果等	朝食の重要性、規則正しい食生活のリズムの確立、食事のバランスの確立、食事のマナー、口腔衛生の知識の向上が期待されます。 依頼内容や対象者に合わせた内容で講話ができるように、数種類の資料や媒体を使用しています。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		ステップアップもぐもぐ教室		担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☒ まもる			
	目的	離乳食を開始し進めていくに伴い、不安を感じる保護者が多いため、悩みを軽減し、適切な離乳食が与えられるような知識や技術の普及啓発を行います。 また、幅広い味覚の形成や咀嚼能力を獲得するための離乳食レシピ、生活リズム・むし歯予防・育児に関する事など具体的な情報交換を行うことで保護者同士の交流も目指します。			
	対象者	原則として満7か月の第1子とその保護者			
	実施方法 内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をして実施 3密を避け、定員を少なくし時間を短縮するため午前・午後の2回開催。 保護者同士の交流はせず、質問は用紙に記入して電話相談で対応。 1 歯科衛生士による講話「おくちのケアとむし歯予防」、 2 管理栄養士による講話「7か月頃からの離乳食の進め方」 その他 離乳中期の離乳食メニューについてデモンストレーションの様子の写真を見せながら解説。月齢別フードモデル・食具・災害に備えた非常食の展示と説明。			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：7月～9月 （4月～6月は中止） 回 数：8回 人 数：49人		下半期（予定） 実施日：10月～3月 回 数：17回 人 数：41人（12月までの実績）	
	期待される 効果等	月齢や子どもの状況に合わせた離乳食の進め方に関する知識の普及、生活習慣の改善、調理技術の向上、衛生面の意識の向上、不安の軽減を行います。 前年度までのアンケートから、離乳食についての困りごとは思うように食べてもらえない（量が増えない）、食材の形態を変えていくのが難しい、レシピについて、などが多く、これらの困りごとへの対策を講話に盛り込むようにしています。また、レシピ集を作成し今年度から配布しています。 ※教室が中止の期間（4～6月）は窓口相談で資料配布（10部）、訪問時保健師による資料配布・希望者に郵送（6部）			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	 講話の様子  配布資料			

事業実績シート

取組の名称		にこにこ健康相談		担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704		
概要	基本目標	■ つくる ■ はぐくむ □ つたえる □ まもる				
	目的	幼児期の生活習慣の形成を図り、保護者のさまざまな育児に関する不安や悩みに応えることを目的とします。				
	対象者	妊産婦および乳幼児の保護者				
	実施方法 内容	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、完全予約制で実施しています。 健康や育児上心配なことに対して、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師が個別の相談を行います。 栄養相談については、市管理栄養士と委託している管理栄養士が個別相談で行います。 生後5か月から1歳6か月までのフードモデルや目安量が記載された資料を使用し、相談を行います。				
	連携団体等	群馬県栄養士会地域活動事業部前橋栄養士グループ「たけのこの会」				
実績	実施日 回数 人数等	上半期		下半期（予定）		
		実施日：7月～9月（4月～6月は中止） 回数：5回 人数：33人		実施日：10～3月（12月までの実績） 回数：6回 人数：52人		
	期待される 効果等	栄養相談は離乳中期から後期の相談が多く、離乳食の進んでいくことで増える悩みなどに応じています。 相談内容は、食事の摂取量、調理形態・固さ、たんぱく質食品、メニューについて、食事バランス、離乳食の始め方・進め方などが多い傾向でした。 離乳食や幼児食の目安量の把握、食事のバランス、個々の食べ方や月齢に応じた食品の固さ、生活リズムの確立、間食の必要性や内容についてお伝えし、保護者の不安を軽減するとともに、家族の食習慣などについても見直す契機とします。 また教室のお誘いや電話による相談及び訪問を行うことで、事後の支援を行います。				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		プリミークラブ（未熟児親の会）	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	養育医療申請児等とその保護者を対象に、相談及び意見交流の場の提供を行い、前向きに育児をするための精神的支援を行っています。また、発育・発達面や育児面の経過観察及び助言・指導を行い、児の発達状況を適切に把握し支援すると共に保護者の不安解消を図ります。	
	対象者	養育医療申請児等とその保護者	
	実施方法 内 容	保健師、保育士、管理栄養士、歯科衛生士が発育・発達面や育児面の経過観察及び助言・指導を行っています。管理栄養士は離乳食や幼児食に関する講話や個別栄養相談を行います。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：7月～9月 （4月～6月は中止） 回数：2回 人数：栄養相談4人	下半期（予定） 実施日：10～3月（12月までの実績） 回数：2回 人数：栄養相談2人
	期待される 効果等	お子さんに適した食事内容や形態の確認、食生活・生活習慣の改善、不安の軽減、仲間づくりの促進を行います。 相談内容としては食事量、食べムラ、離乳食の進め方についての相談が多い傾向です。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）		

事業実績シート

取組の名称		プレママクラス		担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704		
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☒ まもる				
	目的	妊娠、出産、育児等に関する正しい知識を身につけるとともに、参加者同士の交流を深め、友達づくりの契機となるような教室にすることを目的とし実施します。				
	対象者	概ね妊娠5～9か月の安定期にある初妊婦				
	実施方法 内 容	1日目：助産師の講座「出産と産後について」 2日目：管理栄養士と歯科衛生士の講座「妊娠期の栄養とおくちの健康」 2日目「妊娠期の栄養とおくちの健康」について ※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施。 試食の提供を行わず、交流の場を設けない。時間を短縮し、午前・午後2回、 9月からは午後2回の開催。 1 歯科衛生士による講話「妊娠期のおくちについて」 2 管理栄養士による講話「食生活を見直そう」 ・妊産婦のための食生活指針や食事バランスガイドについて説明 ・フードモデルや嗜好品のエネルギー量と糖分量のサンプルなどを展示 ・1日の食事記録表の提出。 個々の食事バランスの分析と指導コメント等を入れ、後日返却。				
	連携団体等					
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期（予定）		
		実施日：7月～9月 （4月～6月は中止） 回 数：4回 人 数：53人		実施日：10月～3月 （12月までの実績） 回 数：2回 人 数：21人		
	期待される 効果等	・体格区分別の推奨体重増加の把握 ・朝食の重要性、規則正しい生活リズムの確立 ・適正体重妊娠週数に応じた食事バランスや適量の把握 フードモデルを活用し、視覚的に目安量を理解していただきます。 ・食事記録から、実践への展開 個々の食事記録から過不足を確認し、食事のバランスを整え、適量を摂取していただき、妊娠中の健康管理の一助としていただきます。 ・間食についての正しい知識の習得、貧血予防、減塩に関する周知 アンケートの結果から参考になった項目は「食事のバランス」「1日の適量」「目安量の確認」「注意が必要な食品」などが多く、規則正しい食生活の重要性を認識し、考えて食べることを習得して頂いています。				
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 食事記録票  食事バランスガイドと食事分析結果票					

事業実績シート

取組の名称		窓口健康相談		担当課 <u>子育て支援課</u> 問い合わせ先 027-220-5704		
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる				
	目的	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者に対して、妊娠、出産、育児に関する相談、離乳食・幼児食に関する栄養相談に応じ、育児不安の軽減を図ります。 また妊娠の届出をした方に、母子健康手帳の交付とともにマタニティーレシピを配布することを通じて、食生活の支援を行います。				
	対象者	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者				
	実施方法 内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月から6月まで窓口とは別の場所を設けて対応。 妊娠、出産、育児、離乳食、幼児食に関する個別相談 保健師、歯科衛生士の相談から連携して栄養相談を行う 妊娠の届出をした方に対して、マタニティーレシピを配布				
	連携団体等					
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）			
		実施日：4月～9月 回 数： 人 数：栄養相談85人	実施日：10月～3月（12月までの実績） 回 数： 人 数：栄養相談23人			
	期待される 効果等	妊娠中の正しい食生活の確立、妊娠中のメニューの充実、産後の栄養・食生活に関する情報提供を行うことで、安心して妊娠、出産や育児を行うことができます。 乳幼児の保護者に関しては、離乳食が進むにつれての離乳食への不安の軽減、幼児食についての悩みや不安の軽減を行います。 保健師や歯科衛生士の健康相談と併せて対応することで、生活面や口腔機能との関連性を理解しながら改善することに繋がります。 いつでも相談できる相談窓口の周知を図っていきます。				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

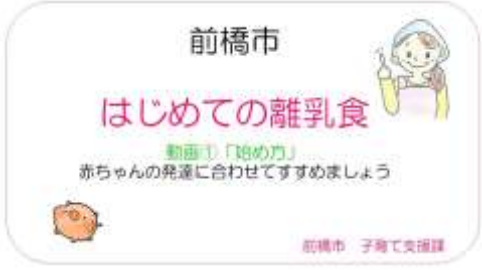
事業実績シート

取組の名称		電話相談	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	■ つくる ■ はぐくむ ■ つたえる □ まもる	
	目的	電話において、妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者に対して、妊娠、出産、育児に関する相談、離乳食・幼児食に関する栄養相談に応じ、育児不安の軽減を図ります。	
	対象者	妊産婦とその配偶者又は乳児、幼児の保護者	
	実施方法 内 容	電話により健康や育児上心配なことに対して、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、作業療法士、助産師、心理士、保育士が個別の相談を行います。 栄養相談では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっていた離乳食関連の教室の申込者に対し、中止の連絡とともに離乳食の進み具合など確認の相談を行いました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回 数： 人 数：延べ454人	下半期（予定） 実施日：10月～3月（12月までの実績） 回 数： 人 数：延べ224人
	期待される 効果等	妊娠中の正しい食生活の確立、育児の不安軽減、産後の栄養・食生活に関する情報提供、離乳食が進むにつれての離乳食への不安の軽減、幼児食についての悩みや不安の軽減 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、外出自粛で市民の不安が多く、相談できるところがなく悩んでいる方が多い印象を受けました。不安を伴いやすい妊産婦や育児の悩みを抱えている保護者に対し、情報提供や相談を行い、いつでも相談できる体制の周知を図っていきます。 令和元年度1年間の相談 延べ365人	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

事業実績シート

取組の名称		訪問栄養指導	担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☒ まもる	
	目的	保護者の離乳食等に対する疑問や不安を解消するため、管理栄養士が家庭訪問し、栄養・食生活指導、調理に対する技術的指導、衛生管理に関する助言、アレルギーに関する助言、保護者の食習慣に関する助言等を行うことで、育児の不安を軽減し、乳幼児の健全な育成環境の支援を図ります。	
	対象者	乳幼児とその保護者	
	実施方法 内容	家庭訪問希望者、保健師からの依頼により、自宅に出向きます。管理栄養士単独又は保健師との同行で家庭訪問に伺います。調理に対する技術的指導、食事の内容、子どもの食べ方や保護者が与える様子を把握し、月齢や年齢、生活環境に応じた支援を行います。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて実施しました。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：28回 人数：延べ67人	下半期（予定） 実施日：10月～3月（12月までの実績） 回数：9回 人数：延べ21人
	期待される 効果等	食生活・生活習慣の改善、調理技術の向上、衛生面の意識の向上、育児に関する不安の軽減 相談内容 離乳食100% 相談者 日本人 60% 外国人 40% 食べない悩みの場合は進み具合（食形状や調理法、味付け等）や食環境、食べさせ方からの具体的な助言や技術支援で食べるようになった等、訪問指導ならではの成果が上がっています。被訪問者は保護者が若年者、精神疾患患者、外国人等と様々で複雑なケースがあり、新型コロナウイルス感染症の関係で外出自粛している中で育児支援に繋がっています。今後も保健師等と連携し、健康相談や健診事後等から対象者の把握に努め、タイムリーな離乳食指導等を通した子育て支援と食育の推進に努めていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 訪問の際に使用する資料の一部	

事業実績シート

取組の名称		離乳食講習会		担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704		
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☒ まもる				
	目的	離乳食の開始から月齢に合わせた離乳食の内容や形態・進め方についてと、動画による作り方のデモンストレーションを交えて伝え、保護者が離乳食について不安を軽減できるように適切なアドバイスを行うことを目的としています。				
	対象者	満4～5か月になる第1子の保護者				
	実施方法 内 容	※新型コロナウイルス感染拡大防止の対策をとり実施 3密を避け、定員を少なくし時間を短縮するため、午前・午後の2回開催 個別相談は別紙に記入して対応。 1 離乳食に関する講話、作り方の動画 2 展示説明 試食できないため手作りの離乳初期のサンプルやベビーフードを準備。月齢別フードモデル・食具・災害に備えた非常食の展示				
	連携団体等					
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：7月～9月 （4月～6月は中止） 回 数：10回 人 数：67人		下半期 実施日：10月～3月 （11月までの実績） 回 数：9回 人 数：65人		
	期待される 効果等	離乳食に対する不安が軽減し、離乳食が開始できること、月齢に合わせた食材の選び方やその調理方法の把握、調理形態の把握、食事の楽しさの増進、衛生面の意識の向上。 市のホームページに動画「はじめての離乳食」を掲載。再生回数は「始め方」795回、「おかゆの作り方」628回（12月23日現在）。市の広報、Facebookに二次元コードを掲載。保護者の方には参加前に動画を見てきていただいております。始め方、おかゆの作り方について学ぶことができ、講習会より詳しくお伝えすることができます。実際に離乳食が始まり、進むにつれて不安を抱える保護者も多く、適切な離乳食が与えられるような知識や技術を普及啓発する必要がある、不安を抱える保護者に対しては電話相談だけでなく、必要に応じて訪問も実施し、継続支援も行っています。				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	  サムネイル画像 講習会の様子				

事業実績シート

取組の名称		オンライン教室 (離乳食講習会・ステップアップもぐもぐ教室)		担当課 子育て支援課 問い合わせ先 027-220-5704	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☒ まもる			
	目的	新型コロナウイルス感染拡大の防止として、Webによる在宅で参加できる健康教育を開催しました。『離乳食講習会』は、離乳食の開始からか月齢に合わせた内容や形態・進め方についての講話と、作り方などの動画を交えて伝えることで、保護者が離乳食について不安を軽減できることを目的としています。また7か月以降の『ステップアップもぐもぐ教室』は、離乳食とおくちの健康についての講話や動画、デモンストレーションなどを取り入れて、離乳食の進め方や口腔衛生の知識の普及も目的としています。問いかけや質疑応答などで適切なアドバイスも行い、一方的な視聴だけの講座にならないように開催します。			
	対象者	満4か月～8か月になる第1子の保護者			
	実施方法 内容	1 事前に参加者へ教室の参加案内と資料を送付 2 直前に希望者へ事前練習会開催 (Zoom 操作の確認、当日の注意事項など) 3 オンライン講習会 ・管理栄養士、歯科衛生士による講話、動画、人形を使ったデモンストレーション 4 終了後にアンケート実施			
	連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： 人数：	下半期 実施日：10月～3月 (12月までの実績) 離乳食講習会 ①10/13 (AM) ②12/15 (PM) ステップアップもぐもぐ教室③12/23 (AM/PM) 回数：4回 人数：①8人 ②6人 ③9人		
	期待される 効果等	離乳食を進めていく際の不安を軽減する、調理技術の向上 月齢に合わせた食材の選び方やその調理方法の把握、調理形態の把握、食事の楽しさの増進、衛生面の意識の向上、口腔衛生の意識の向上 在宅で講座を受けることで、新型コロナウイルス感染のリスクが軽減します。講話中は同じ参加者の声が聞こえないように設定しているので、お子さんが泣いてしまっても気兼ねなく参加していただけます。またお子さんと一緒に参加していることで、画面上で安否確認をすることもできます。 動画やデモンストレーションで講話の内容を確認するとともに、離乳食の開始、作り方、進め方、おくちのケアなどをお伝えすることができます。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  			

事業実績シート

取組の名称		訪問栄養指導	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	高齢者が要支援・要介護状態に重症化することを予防し、住み慣れた家や地域で自立した生活が継続できるように支援します。	
	対象者	65歳以上の市民	
	実施方法 内 容	対象者の自宅へ訪問し、高齢者の心身の状態、食生活状況に応じて個別に栄養・食生活の助言を行う他、必要に応じ調理実習を行います。 ●対象者を限定しない一般訪問栄養指導 対象者や担当者等からの依頼により訪問。内容や回数は対象者に応じて行う ●要支援認定者と事業対象者を対象とした訪問型サービスセンター 概ね3か月を支援期間とし、回数は対象者に応じて決める ●高齢者配食サービス利用者のうち低栄養を理由とする者への訪問 低栄養となった理由、配食利用後の変化等について確認し、必要に応じてアドバイスを行う	
	連携団体等	地域包括支援センター、ケアマネジャー	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）
		実施日：6～9月 回 数：29回 人 数：24人延べ32人	実施日：10月～3月 回 数：24回 人 数：8人延べ25人 （12月末現在）
	期待される 効果等	一般と訪問センターは、個々の課題に対応した支援を行うことにより、低栄養や疾病の重症化予防、食事準備能力の維持につなげることが期待できます。 配食低栄養訪問は、喫食状況や生活活動状況などの確認により実態を把握するとともに、食事摂取の助言を通して低栄養の改善につなげることが期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

事業実績シート

取組の名称		元気プラス＋講座	担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上を目指した複合プログラムを行うことにより介護予防のための生活習慣の習得を支援します。	
	対象者	65歳以上の市民	
	実施方法 内容	全6回のプログラムを概ね2週間ごと約3か月かけて老人福祉センターや公民館で実施しています。プログラムは、運動・栄養・口腔・認知症予防等の専門プログラムとピンシャン元気体操等のルーチンプログラムからなり、専門プログラムを長寿包括ケア課職員が、ルーチンプログラムを老人福祉センター看護職員が担当。家庭での取り組みの促しとして、各自目標を設定し、取り組み状況を毎回確認します。初回と最終回に健康状態のアセスメントと体力測定を行い評価します。	
	連携団体等	老人福祉センター	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：7～9月 回数：1コース5回（7月1回悪天候により中止） 人数：延べ9人	下半期（予定） 実施日：10～12月、1月～3月 回数：2コース11回（12月1回県警戒度4により中止） 人数：延べ47人（12月末現在）
	期待される 効果等	3か月間の複合プログラムを通して介護予防の知識を普及するとともに、家庭での取り組みを促しており、参加者の自立維持につながると考えられます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）		

事業実績シート

取組の名称		健康教育		担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133		
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる				
	目的	健康や疾病等に関する情報、知識等を提供するとともに、高齢者の心身の状態に応じて助言等を行うことにより、高齢者の健康の保持・増進、疾病予防、意識の啓発等を測り、要介護状態に陥ることを予防し、健やかで活力ある自立した生活を継続して送ることができるよう支援することを目的とします。				
	対象者	65歳以上の市民				
	実施方法 内 容	健康・疾病・介護予防等に関する講演等を行い、適宜個別相談に応じます。 ・老人福祉センターにおいて定例で行うもの ・ふれあいいきいきサロン等団体からの依頼をもとに地区公民館等に出向くもの				
	連携団体等	老人福祉センター				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期（予定）		
		実施日：8～9月 老セン 健康相談 回 数：6回 4回 人 数：66人 4人		実施日：10～3月 サロン 老セン 健康相談 回 数：1回 6回 15回 人 数：17人 92人 15人 (12月末現在)		
	期待される 効果等	老人福祉センターにおいては年間を通して定期的に行うため、季節の話題や時事を織り交ぜた情報提供や知識の普及を行っています。団体からの依頼については、高齢期の栄養課題である低栄養予防を中心に知識の普及と実践の促しをしており、自立した生活の継続につながると考えられます。				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		嚙む力をはぐくむ教室		担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133		
概 要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる				
	目 的	嚙む力をはぐくむために必要な口腔ケアに関する講話や実習を行い、自ら実践する方法を身につけ家庭での実践につなげることを目的とします。				
	対象者	65歳以上の市民				
	実施方法 内 容	地域の公民館等を会場実施。歯科衛生士によるオーラフレイル予防を中心とした講話や顔面体操を行います。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、歯磨きの実技を動画視聴にし、管理栄養士による試食提供をレシピ紹介と講話に替えて実施しています。				
	連携団体等					
実 績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期（予定）		
		実施日：7/21 回 数：1回 人 数：7人		実施日：12/10、3/3 回 数：2回 人 数：12人（12/10）		
	期待される 効果等	前橋市における介護予防の合言葉である「動いて・食べて・磨いて元気」のうち、食べて・磨いての実践につなげる手立てとなるよう口腔ケアの実技を中心としたプログラムであり、家庭での取り組みによる口腔機能の維持が期待できます。				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		各種介護予防教室		担当課 長寿包括ケア課 問い合わせ先 027-898-6133		
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる				
	目的	高齢者の健康の保持・増進、疾病予防、意識の啓発等を図ることにより、要介護状態に陥ることを予防し、健やかで活力ある自立した生活を継続して送ることができるよう支援することを目的とした各種介護予防教室において栄養・食生活に関する講話を行うことで、参加者の取り組みを促し、教室の目的達成に寄与することを目的とします。				
	対象者	65歳以上の市民				
	実施方法 内 容	他職種が中心となり行う介護予防教室において栄養講話を行い、食に関する介護予防の取り組みを促しています。必要に応じて、個別に食べ方のアドバイスをを行っています。 実施教室 ・歩行動作軽やかスクール ・脳力アップチャレンジ ・男性のための筋トレ教室 ・アクティブライフ講座				
	連携団体等					
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期（予定）		
		実施日：4～9月 回 数：9回 人 数：延べ39人		実施日：10～3月 回 数：8回 人 数：延べ98人（12月末現在）		
	期待される 効果等	教室参加のきっかけが、運動機能の維持や認知症予防などである参加者に対し、栄養・食生活を整えることの大切さやその手立てを伝えることで、食が関連することの理解と関心を高め、取り組みを促す機会になっています。				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）					

事業実績シート

取組の名称		介護予防サポーター養成研修・活動支援		担当課 <u>長寿包括ケア課</u> 問い合わせ先 027-898-6133		
概 要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる				
	目 的	介護予防を实践できる人材の育成。介護予防サポーターは、食に関するボランティアとしての役割も担っており、スキルアップ研修等の機会を捉え、栄養・食生活に関する知識の普及・啓発し活動を支援します。				
	対象者	概ね60歳以上の市民				
	実施方法 内 容	介護予防サポーター養成研修（初級・中級）において、栄養・食生活に関する講話を行うほか、登録しているサポーターへのスキルアップ研修などを行い、活動を支援していきます。				
	連携団体等					
実 績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期		
		実施日：初級7/17 回 数：1回 人 数：29人		実施日：中級11/30 回 数：1回 人 数：29人		
	期待される 効果等	サポーター自身の栄養・食生活の見直し実践につながるだけでなく、サポーターが得た知識を地域住民に普及することも期待できます。				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		特定健診後の情報提供		担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715		
概 要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる				
	目 的	前橋市国保加入者の集団健診(総合健診含む)受診者に対し、生活習慣病と食事に関する情報提供を行い、自身の食事について関心を持ち、見直しや改善の取組を促すことを目標とします。				
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で集団での特定健診を受診した市民				
	実施方法 内 容	集団健診の委託先(群馬県健康づくり財団、JA群馬厚生連)と連携し、地区集団健診及び総合健診の健診結果にチラシを同封し、食事についての情報提供をしています。 今年度はチラシに糖尿病性腎症に関連する食生活のポイントを掲載し同封します。				
	連携団体等	群馬県健康づくり財団、JA群馬厚生連				
実 績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期		
		実施日：8～9月 回 数：15回 人 数：602人		実施日：10～12月 回 数：9回 人 数：703人		
	期待される 効果等	・食への知識と関心の向上 ・食生活 ・生活習慣の改善 ・健康増進				
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)						

事業実績シート

取組の名称		特定保健指導		担当課 国民健康保険課 問い合わせ先 027-220-5715
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる		
	目的	特定保健指導の際に、参加者が食事バランスや食事の適量を学ぶことで、食生活を見直し、健康を自己管理していく力を育むことを目標とします。また、食生活を含む生活習慣の見直しにより健診結果の改善を目指します。		
	対象者	40歳から74歳までの被保険者で特定保健指導基準該当者		
	実施方法 内 容	前橋市国保特定健康診査を受診し、腹囲・血液検査などの結果から特定保健指導対象となった方のうち、利用希望者に対し、管理栄養士・保健師が生活改善に向けたアドバイス・支援を行います。 前橋市国保特定保健指導は、保健指導室が行う直営と医療機関等が行う委託があります。		
	連携団体等	特定保健指導が可能な医療機関		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）	
		実施日：（直営）個別 通年 人 数：198人	実施日：（直営）個別 通年	
	期待される 効果等	・食事に対する意識の向上 ・食生活・生活習慣の改善 ・健診結果の改善 ・健康増進		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）			

事業実績シート

市ホームページ掲載可否

■ 可 □ 否

取組の名称		からだに美味しい食講座		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	健康的な食生活が送れるよう、食に関する正しい知識の普及を図り、生活習慣病の予防につなげるとともに、食育を普及します。			
	対象者	市民			
	実施方法 内 容	食育に関する講話と他課・他係の講話 <テーマ> 第1回、3回、5回 災害時の備え～かんたん防災食～ 第2回、4回 血糖値の上昇を防ぐ！食事のコツ			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期（予定）	
		実施日：9月10日 回 数：1回 人 数：15人		実施日：11月～2月 回 数：4回 人 数：60人	
	期待される 効果等	テーマに応じた講話を実施することで、バランスのよい食事や望ましい食習慣について学ぶことができます。今年度は、感染症対策のため調理実習がなくなりましたが、対象者に合わせた講話を取り入れることで、食事の面から生活習慣病予防につながることが期待できます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  				

事業実績シート

取組の名称		前橋市食生活改善推進員協議会事業 おやこの食育教室		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる			
	目的	前橋市食生活改善推進員協議会の会員が市民に対し、市民が健康的な食生活が送れるように食に関する情報を周知します。			
	対象者	市民			
	実施方法 内 容	前橋市との協働事業 【おやこの食育教室】 年長から小学生のお子さんがいるご家庭に、食育5つの力をテーマに食に関する資料とお勧めメニューをご家庭に配布します。			
	連携団体等	なし			
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）		
		実施日： 回数： 人数：	実施日： 回数：22地区 人数：家庭への配布予定449人 他前橋市立若宮小学校 児童と職員 185人 計 634人		
	期待される 効果等	【おやこの食育教室】 子どもにとって幼少期から小学校低学期は、人格形成に最も大切な時期であり味覚を始め豊かな感性を培われ、心と体のバランスのとれた人格を育てるとも言われています。食の大切さを知り、主食、副菜、主菜の組み合わせを知ること生涯健康ですぐすための食生活を送ることができます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 				

事業実績シート

取組の名称		前橋市食生活改善推進員協議会事業 減塩普及活動 減塩パネル作成		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる			
	目的	前橋市との協働事業として実施します。 前橋市食生活改善推進員協議会の会員が市民に対し、市民が健康的な食生活が送れるように食に関する情報を周知します。			
	対象者	市民			
	実施方法 内容	【減塩普及活動】 減塩に関する情報をパネルにし、掲示します。1日あたりの食塩摂取目標量に関しては日本人の食事摂取基準2020年版に準じた内容で掲載します。掲示場所は公民館等で行い、掲示ができない場合は次年度以降の教室時やイベント時に掲示を行う予定です。 参考資料：群馬県・群馬県食生活改善推進員協議会作成の「あなたもできる！食塩減らして健康家族」			
	連携団体等	公民館・市民サービスセンター			
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）		
		実施日： 回数： 人数：	実施日： 回数：掲示物12地区で作成 （南部、文京、上川淵、下川淵、芳賀、桂萱、東、元総社、総社、永明、大胡、宮城） 人数：		
	期待される効果等	【減塩普及活動】 自身がどのくらい食塩を摂取しているか、摂りすぎと身体の関係を知り、生活の中で減塩を心がけて摂取する食塩量を減らします。普段食べる食品や料理に含まれる食塩量を掲示することで、食べる回数や量、食べ方を変えることで減塩に関する意識の変容につながります。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		まえばし健康づくり協力店		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783											
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる													
	目的	市民の健康寿命を延伸し、心身ともに健康で質の高い生活を送るために、市民の健康を食生活の観点から支援するために食環境を整えることが重要になっています。「健康メニュー」や「健康サービス」を提供して市民の健康づくりの応援をするお店を「まえばし健康づくり協力店」として登録しています。													
	対象者	所在地が市内にある下記施設 飲食店、そう菜等製造店、宿泊施設、事業所給食施設、小売業等販売店舗													
	実施方法内容	登録要件「健康メニュー」「健康サービス」の両方またはいずれか一方を実施していること。													
		<健康メニュー>													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>メニュー項目</th> <th>1食分あたりの基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>バランスメニュー</td> <td> ・主食、主菜、副菜がそろっている ・食塩相当量 3.5g 以下 ・野菜量 100g 以上 ・エネルギー 概ね 500～700kcal 程度 </td> </tr> <tr> <td>エネルギーひかえめメニュー</td> <td> ・エネルギー 650kcal 以下 </td> </tr> <tr> <td>食塩ひかえめメニュー</td> <td> ・食塩相当量 3.0g 以下 </td> </tr> <tr> <td>野菜たっぷりメニュー</td> <td> ・野菜量 120g 以上 </td> </tr> </tbody> </table>				メニュー項目	1食分あたりの基準	バランスメニュー	・主食、主菜、副菜がそろっている ・食塩相当量 3.5g 以下 ・野菜量 100g 以上 ・エネルギー 概ね 500～700kcal 程度	エネルギーひかえめメニュー	・エネルギー 650kcal 以下	食塩ひかえめメニュー	・食塩相当量 3.0g 以下	野菜たっぷりメニュー	・野菜量 120g 以上
		メニュー項目	1食分あたりの基準												
バランスメニュー		・主食、主菜、副菜がそろっている ・食塩相当量 3.5g 以下 ・野菜量 100g 以上 ・エネルギー 概ね 500～700kcal 程度													
エネルギーひかえめメニュー		・エネルギー 650kcal 以下													
食塩ひかえめメニュー		・食塩相当量 3.0g 以下													
野菜たっぷりメニュー	・野菜量 120g 以上														
<健康サービス>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>サービス項目</th> <th>例</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食塩ひかえめ</td> <td>味つけをうすく調整できる</td> </tr> <tr> <td>エネルギーひかえめ</td> <td>主食の量を調整できる</td> </tr> <tr> <td>野菜たっぷり</td> <td>野菜のおかわりができる</td> </tr> <tr> <td>食べやすさ</td> <td>希望に応じて固さや大きさを調整できる</td> </tr> <tr> <td>健康情報提供</td> <td>健康情報の発信、栄養成分表示</td> </tr> </tbody> </table>				サービス項目	例	食塩ひかえめ	味つけをうすく調整できる	エネルギーひかえめ	主食の量を調整できる	野菜たっぷり	野菜のおかわりができる	食べやすさ	希望に応じて固さや大きさを調整できる	健康情報提供	健康情報の発信、栄養成分表示
サービス項目	例														
食塩ひかえめ	味つけをうすく調整できる														
エネルギーひかえめ	主食の量を調整できる														
野菜たっぷり	野菜のおかわりができる														
食べやすさ	希望に応じて固さや大きさを調整できる														
健康情報提供	健康情報の発信、栄養成分表示														
連携団体等															
実績	実施日回数人数等	上半期		下半期(予定)											
		実施日：4月～9月 登録店舗数：16店舗（合計147店舗）		実施日：10月～3月 登録店舗数：1店舗（合計148店舗） ＊11月末現在											
	期待される効果等	健康メニューの登録が増えることで、外食や中食、テイクアウトでの食事の選択肢がふえます。また、1食あたりの基準値を満たす食事を食べることで自らの食事を見直すきっかけとなることが期待されます。													
取組み様子	登録証   														

事業実績シート

取組の名称		食環境整備事業	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	食情報を定期的に発信し、健康維持・増進につなげます。	
	対象者	市民、職員等	
	実施方法 内容	食育情報を掲載した卓上ポップを市本庁舎の地下1階職員休憩室と12階北市民ロビーの机の上に設置し、食育やバランスの良い食事、1日の食塩摂取基準、野菜350gの摂取等の情報を広く周知しています。ポップの内容を3か月に1回更新をしています。4～6月は「バランスの良い食事、減塩、野菜350g摂取啓発」、7～9月は「バランスの良い食事、熱中症予防、骨粗鬆症予防」10～12月は「バランスの良い食事、知って得する野菜の魅力」、1～3月は「バランスの良い食事、炭水化物と糖質」をテーマに実施しました。 また、ホームページにも掲載しダウンロードして、作成することができるようにします。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4～6月、7～9月 回数：2回 人数：	下半期（予定） 実施日：10～12月、1～3月 回数：2回 人数：
	期待される 効果等	食に対しての正しい情報を知ること、食育についての知識の向上が食生活の見直しにつながる事が期待されます。食生活の改善によって生活習慣病の予防にもつながります。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 「卓上ポップ」  「12階北市民ロビーの様子」	

事業実績シート

取組の名称		ウエルネス通信		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	働き世代への健康づくりの働きかけが必要とされています。市と企業が連携して健康づくりを推進するウエルネス企業。栄養情報と旬の野菜を使ったレシピを配信します。			
	対象者	まえばしウエルネス企業 233企業			
	実施方法 内 容	「まえばしウエルネス企業」に栄養情報と旬の野菜レシピの発信をメールで行いました。			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：5月～9月 回 数：4回		下半期（予定） 実施日：10月～3月 回 数：4回	
	期待される 効果等	職場において栄養・食生活等に関する情報が提供され、働き世代の生活習慣病予防や食育の周知につながります。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	まえばしウエルネス通信 5号～健康経営お役立ち情報～ まえばしウエルネス企業担当者 各位 前橋市健康増進課から「すぐに取り組める職場での健康経営～栄養情報版～」をお伝えします！ ***** この通信はまえばしウエルネス企業に登録された企業の皆様に配信しています。 ***** ～11月14日は世界糖尿病デーです～ 毎年11月14日が近づく、ブルーサークルのポスターを目にすることはありませんか？それは、世界糖尿病デーのキャンペーンに用いられるシンボルマークです。 1991年にIDF（国際糖尿病連合）とWHO（世界保健機関）がインスリンの発見者の誕生日である11月14日を「世界糖尿病デー」と制定しました。 2006年には国連により公式認定され、その後は世界各国でブルーをイメージカラーとしたイベントが開かれています。前橋市では臨江閣がブルーにライトアップされるなど、各地でブルーライトアップが見られます。 糖尿病の人は世界中で増えており、世界で4億6300万人、世界の成人（20～79歳）の11人に1人に相当します。日本は40歳以上の約3人に1人が糖尿病または予備軍とされています。 			

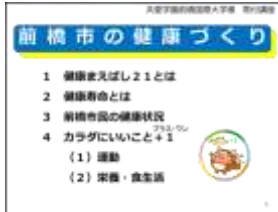
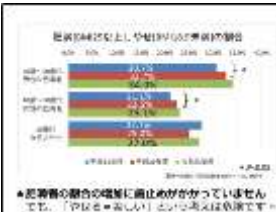
事業実績シート

取組の名称		若い世代への食育 大学生に向けた食育に関する情報提供	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	若い世代が将来の健康を意識し、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とします。	
	対象者	群馬県立県民健康科学大学 看護学部3年生	
	実施方法 内容	授業がオンラインとなり自宅学習となった為、講義で使用する予定であったPower pointに説明文を付けて授業資料として情報提供を行いました。 <内容> 1 食育について（歴史・経緯・法律） 2 前橋市の現状（健康状況、アンケート結果） 3 元気 まえばし 食育プラン ～第3次前橋市食育推進計画～ 4 食生活を見直そう（食事のバランス、野菜摂取、減塩）	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：6月25日（木）9時～10時半 動画配信日 回数：1回 人数：79人	下半期（予定） 実施日：2月22日 回数：1回 人数：
	期待される 効果等	・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む ・将来の健康を意識する ・食に関する正しい知識の取得 【授業後アンケート結果】 授業後のアンケートでは、食育の重要性が理解できた（24%）、食生活を振り返ることができた（22%）、実際に取り組んでみようと思った（17%）、前橋市の現状に驚いた（5%）という結果でした。そのほか、学んだことを将来の仕事に活かしたい、若い時からの食事は大事だと思った等、食に興味を持った学生の意見が多数見られ、食生活を見直すきっかけや意識が高まったと考えられます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	提供資料(抜粋) 	

事業実績シート

取組の名称		若い世代への食育 学生定期健康診断・再健診時における栄養相談		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	若い世代が将来の健康を意識し、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とします。			
	対象者	前橋工科大学 大学生			
	実施方法 内 容	前橋工科大学学生定期健康診断および再健診時に栄養相談実施しました。			
	連携団体等	株) クスリのマルエ (上半期のみ)			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：8月5～7日 回 数：3回 人 数：349人（栄養相談実施人数）		下半期 実施日：10月7日、13日 回 数：2回 人 数：14人（栄養相談実施人数）	
	期待される 効果等	・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む ・将来の健康を意識する ・食に関する正しい知識の取得 【学生の様子】高血圧、高コレステロール値、血糖値などの項目が高い学生が多く、有所見項目があっても病気に対しての危機感が薄く、食生活だけでなく生活全般が乱れている学生が多い傾向が見られました。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 			

事業実績シート

取組の名称		若い世代への食育 大学生に向けた食育に関する情報提供	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	若い世代が将来の健康を意識し、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とします。	
	対象者	共愛学園前橋国際大学 1～4年生（授業選択者）	
	実施方法 内容	共愛学園前橋国際大学と市の協働事業で、市が主催の講座「前橋を考える」の一コマとして実施しました。授業がオンラインになったため、事前に講義を撮影し授業日に合わせて学生に配信されました。保健師と管理栄養士で実施し、市の健康状況や運動、栄養・食生活等について講話をしました。 <内容> 「前橋市の健康づくり」	
	連携団体等	共愛学園前橋国際大学	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： 人数：	下半期 実施日（撮影）：10月28日（水） 配信日：11月6日（金） 回数：1回 人数：159人
	期待される 効果等	・将来の健康を意識する ・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む ・食に関する正しい知識の取得 【受講後の感想】 食事を改めて見直すきっかけになった、バランスの良い食事の大切さを知った等の意見が多数見られ、食に対する意識や知識の向上につながったと考えられます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	提供資料(抜粋)     	

事業実績シート

取組の名称		若い世代への食育 就職活動中の学生への食育啓発	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	若い世代が将来の健康を意識し、生活習慣病予防のための食習慣の獲得を目的とします。	
	対象者	前橋工科大学 大学生	
	実施方法 内 容	合同就職説明会の会場：株)クスリのマルエブースにて就職活動中の学生を対象に、株)クスリのマルエと連携して、栄養教室の運営および食育展示を実施しました。栄養教室では、株)クスリのマルエの管理栄養士が講義をし、健康増進課の管理栄養士がサポートするといった形式で実施しました。また、健康増進課作成の食育パネルを展示しました	
	連携団体等	株)クスリのマルエ	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期 実施日：12月25日 回 数：1回 人 数：5人（栄養教室参加延べ人数） 10人（食育パネル見学人数）
	期待される 効果等	・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む ・将来の健康を意識する ・食に関する正しい知識の取得 【参加者の声】 ・普段の食生活が乱れやすいため、どのような食事をすれば良いか知りたくて教室に参加した。 ・食事バランスを見直し、栄養がとれる食事にしたい。 ・パネル展示を見て、コンビニの買い方の参考になった。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	栄養教室および展示の様子    	

事業実績シート

取組の名称	食育新聞(働き盛り編、若者編)		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	働き盛り世代への生活習慣病予防の支援や食について知る機会の提供、および若い世代が食に対する関心と理解を深め、自ら食育を実践できるよう支援し、知る機会の提供を行った取り組みを広く周知します。	
	対象者	企業従業員、専門学校生・大学生	
	実施方法 内 容	平成30年度より実施している働き盛り世代・若い世代への食育の取り組みを新聞形式にまとめ、食育新聞として前橋市ホームページに掲載し、企業配信のウェルネス通信や大学で周知しています。	
	連携団体等		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月、6月、9月 回数：6回（働き盛り編2回、若者編4回） 人数：	下半期（予定） 実施日：10月、2月、3月 回数：3回（働き盛り編1回、若者編2回） 人数：
	期待される 効果等	・働き盛り世代への生活習慣病予防の支援の周知 ・働き盛り世代の生活習慣病予防や食についての知る機会の周知 ・若い世代の食に関する知る機会の周知 働き盛り世代、若い世代が同世代の取り組みを知ること、食に対する興味関心を持つきっかけづくりになることが期待できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	働き盛り編  若者編 	

事業実績シート

取組の名称		歯科保健事業（成人歯科健康診査等）		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5708	
概要	基本目標	☒ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防するために成人歯科健康診査を実施しています。 また、歯と口腔の健康づくりを普及するため、健康教育・相談等を実施し、口腔ケア・口腔機能の維持向上を推進していきます。			
	対象者	小学生～高齢者まで			
	実施方法 内 容	■成人歯科健康診査 対象者：前橋市に住民登録のある20歳～70歳の5歳刻み年齢 健診内容：問診、口腔内診査 ■歯と口腔の健康づくりの普及 感染症対策を講じ、学校や地域団体等に模型を使用した刷掃指導や講話を行う。 学齢期、青年期、壮年期、高齢期へのライフステージに合わせたセルフケアの方法や、定期的な歯科健診への受診勧奨を行う。			
	連携団体等	前橋市歯科医師会、前橋市学校歯科医会、学校保健会、群馬県歯科衛生士会中央支部、群馬県歯科技工士会前橋地域			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	成人歯科健康診査（7月～2月） 健康増進歯科健康診査（9月～11月） まえばしウエルネス企業へ定期健診、デンタルフロスの使用方法の情報を周知 スマイル健康診査受診者（歯科健診対象年齢の方）へ個別受診勧奨を実施		
		下半期	市内大学へのメール配信、ポスター配布（10月） 市民健康講座11月26日（木） リーフ歯科クリニック 院長 豊田 庸光先生「歯周病がもたらす3つの損～歯周病が及ぼす様々な影響～」 再受診勧奨ハガキの送付（12月）		
	期待される 効果等	口腔機能の維持向上（オーラルフレイル予防）、食習慣の改善、健康増進 早期から定期的な歯科受診、毎日の歯間清掃用具を使用するなどを周知し、市民の口腔への意識を向上させ、歯の喪失の予防につなげる。また、講座や健康教室を通して、全身の健康にも関わることを周知し、歯科保健行動の改善につながることを期待される。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	  11月:市民健康講座 12月:再受診勧奨ハガキの送付			

事業実績シート

取組の名称		まえばしフードバンク事業		担当課 社会福祉課 問い合わせ先 027-898-5845																																																																																																																					
概要	基本目標	☐ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる																																																																																																																							
	目的	生活に困窮等の事情から、日々の食事に不自由し社会的支援を必要とする方に対し、規格外等の様々な理由により廃棄の対象となる食品を食品関連企業及び地域団体等から無償で提供を受け、その食品を配布すること（フードバンク事業）により、生活の維持・向上及び食のセーフティネットとして支え合う地域づくりの推進を目的としています。																																																																																																																							
	対象者	生活困窮者及び福祉団体等																																																																																																																							
	実施方法 内 容	NPO法人三松会への委託事業として実施 1 フードバンク利用にあたっては、「まえばし生活自立相談センター（市役所社会福祉課内）」が申請窓口となります。 2 フードバンクまえばしから、自宅への食糧配付も行っています。 3 食品関連企業や市民の方からの食品の寄付を受付けています。 4 子どもを対象とした無料学習支援を実施する団体や子どもの居場所づくりを目的とした福祉団体等への食糧提供支援を行っています。 5 フードドライブ運動を推進しています。																																																																																																																							
	連携団体等	食品関連企業、市民団体等																																																																																																																							
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日： 回数： ※実績については下記表 人数：		下半期(予定) 実施日： 回数： ※実績については下記表 人数：																																																																																																																					
	期待される 効果等	生活困窮者の生活の維持・向上及び食のセーフティネットとして支え合う地域づくりの推進の他に、子どもの居場所作りの推進にも効果が見られます。																																																																																																																							
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	実績 まえばしフードバンク事業実施状況 ●支援実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳／月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td>個人</td> <td>80</td> <td>165</td> <td>83</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>39</td> <td>30</td> <td>43</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>553</td> </tr> <tr> <td>団体</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>80</td> <td>165</td> <td>83</td> <td>56</td> <td>57</td> <td>39</td> <td>30</td> <td>43</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>553</td> </tr> </tbody> </table> ●食品寄付受入 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>内訳／月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2</td> <td>企業寄付重量 kg</td> <td>276</td> <td>1,299</td> <td>519</td> <td>1,182</td> <td>896</td> <td>161</td> <td>274</td> <td>767</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5,373</td> </tr> <tr> <td>個人寄付重量 kg</td> <td>441</td> <td>729</td> <td>1,056</td> <td>818</td> <td>571</td> <td>746</td> <td>1,369</td> <td>1,006</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6,736</td> </tr> <tr> <td>三松会分</td> <td>1,561</td> <td>995</td> <td>866</td> <td>687</td> <td>294</td> <td>740</td> <td>434</td> <td>272</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5,249</td> </tr> </tbody> </table>					年度	内訳／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2	個人	80	165	83	56	57	39	30	43					553	団体	0	0	0	0	0	0	0	0					0	計	80	165	83	56	57	39	30	43	0	0	0	0	553	年度	内訳／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	2	企業寄付重量 kg	276	1,299	519	1,182	896	161	274	767					5,373	個人寄付重量 kg	441	729	1,056	818	571	746	1,369	1,006					6,736	三松会分	1,561	995	866	687	294	740	434	272				
年度	内訳／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																																																											
2	個人	80	165	83	56	57	39	30	43					553																																																																																																											
	団体	0	0	0	0	0	0	0	0					0																																																																																																											
	計	80	165	83	56	57	39	30	43	0	0	0	0	553																																																																																																											
年度	内訳／月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																																																											
2	企業寄付重量 kg	276	1,299	519	1,182	896	161	274	767					5,373																																																																																																											
	個人寄付重量 kg	441	729	1,056	818	571	746	1,369	1,006					6,736																																																																																																											
	三松会分	1,561	995	866	687	294	740	434	272					5,249																																																																																																											

事業実績シート

取組の名称		担当課 子育て施設課 問い合わせ先 027-220-5706	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☒ まもる	
	目的	保護者の食に関する様々な情報を掲載し食に関する知識向上と、保育所献立について保護者への情報提供を行い、家庭への食育につなげます。	
	対象者	公立保育所園児の保護者	
	実施方法 内 容	毎月テーマを決めて、食に関する情報とその月の給食レシピを掲載します。 献立表とともに、毎月保護者に配付します。	
	連携団体等		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：毎月 回 数：6回 人 数：毎月、園児約1500人の保護者	下半期(予定) 実施日：毎月 回 数：6回 人 数：毎月、園児約1500人の保護者
	期待される効果等	保護者の食への理解を深め、食事を作ることや子どもと一緒に食べることに喜び持つことができるよう、家庭での献立作成の手助けをするとともに、食に関する不安を減少させます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	

事業実績シート

市ホームページ掲載可否

■ 可 □ 否

取組の名称		お楽しみメニュー・お楽しみおやつの実施		担当課 <u>子育て施設課</u> 問い合わせ先 027-220-5706
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる ■まもる		
	目的	日常と非日常のメリハリをつける事によって、食事をより楽しいものと感じてもらえることを目的としています。また、季節や年中行事などを考慮した献立にし、伝統を知らせる機会としています。		
	対象者	公立保育所園児		
	実施方法 内 容	月に一回、お楽しみメニューの日とお楽しみおやつの日を実施します。献立は統一であるが、実施日は保育所ごとに設定します。		
	連携団体等			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：毎月それぞれ1回 回 数：6回×2回 人 数：毎月、園児約1,500人	下半期（予定） 実施日：毎月それぞれ1回 回 数：6回×2回 人 数：毎月、園児約1,500人	
	期待される 効果等	日常と非日常のメリハリをつける事によって、食事をより楽しいものと感じてもらえることを目的としています。また、季節や年中行事などを考慮した献立にし、伝統を伝えます。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 		

事業実績シート

取組の名称		「食育の日」の推進		担当課 <u>健康増進課</u> 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	「毎月19日は食育の日」の普及啓発を目的とし、食を通じた家庭や地域のコミュニケーション強化、食育推進を図ります。 保健センター1階のショーケースを活用とした掲示を行い、年4回の入れ替えを行います。また、毎月19日に「食」に関する情報をFacebook等で市民の方へ発信を行うとともに、全庁掲示板にて職員にも発信を行います。			
	対象者	市民、職員等			
	実施方法 内容	1階ショーケースの掲示、全庁掲示板・Facebook等での情報発信を行います。 【1階ショーケース】 4～5月：朝ごはんを食べよう 10～12月：ウォーキングをしよう 6～7月：よく噛んで食べよう 1～3月：感染症予防のポイント 8～9月：甘い糖にご用心！！ 【全庁掲示板・Facebook】 4月：甘い飲み物に気をつけよう 9月：栄養成分表示を活用しよう 5月（特別号）：免疫力を高める食事 10月：食事の適量を知ろう！ 6月：食育月間：コンビニの選び方 12月：郷土料理（おきりこみ） 7月（特別号）：8月4日は栄養の日 2月：脂質について①② 8月：栄養成分表を味方につけよう 3月：体内時計を整えよう			
	連携団体等				
実績	実施日 回数 人数等	上半期		下半期（予定）	
		実施日：4月～9月 回数：3回（ショーケース） 5回（全庁掲示板・Facebook）		実施日：10月～3月 回数：2回（ショーケース） 5回（全庁掲示板・Facebook）	
	期待される効果等	保健センター1階のショーケースを活用し、食事や生活習慣病予防の掲示を行います。食に関する知識や食育への関心の向上を目指し、広く市民の方への周知を図ります。 また、食育の日のPR活動として、全庁掲示板にて職員への情報発信、Facebook等で市民の方への情報発信を行うことで、食生活・生活習慣の見直しにつながる事が期待されます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 1Fショーケース  全庁掲示板・Facebook				

事業実績シート

取組の名称		前橋・高崎連携事業 食育推進事業	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	前橋市・高崎市が連携して両市民への食育の啓発を図ることを目的に実施しています。	
	対象者	両市民	
	実施方法 内 容	① 食育に関する講座等の開催、共通資料配布 ② 共通スローガン「食卓で 笑顔と健康 育てよう」の周知 ③ 広報紙の共通記事掲載 ④ 学校給食の連携 ⑤ 食生活改善推進員の連携（*新型コロナウイルス感染症予防のため中止）	
	連携団体等	高崎市、両市食生活改善推進員協議会	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：4～9月（①、②、③） 回 数：①2回（食育展示、からだに おいしい食講座にて配布）②随時 （保健センターに掲示）③1回 人 数：	下半期 実施日：10～3月（①、②、④） 回 数：①9回（食育展示、からだに おいしい食講座にて配布）②随時（保健セ ンターに展示）④1回（書面開催） 人 数：
	期待される 効果等	食育の知識、食育への関心、食事のマナーが向上し、食生活・生活習慣の改善、 食事の楽しさの増進などが期待されます。 また、両市共通の内容を実施することで、より多くの市民に食育の大切さや食 の正しい知識について周知できます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	 	

事業実績シート

取組の名称		前橋市ホームページ「まえばし食育の森」におけるレシピおよび食情報の情報発信		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる		
	目的	レシピや食に関する情報をホームページに掲載し、市民へ周知啓発します。		
	対象者	市民		
	実施方法 内 容	前橋市ホームページに「まえばし食育の森」ページを作成し、その中でレシピや食に関する情報を掲載します。健康増進課だけでなく、管理栄養士のいる課と学校教育課と連携し、年間予定を組んで毎月発信しています。		
	連携団体等			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：毎月1回発信（4月～9月） 回 数：6回 人 数：	下半期（予定） 実施日：毎月1回発信（10月～3月） 回 数：6回 人 数：	
	期待される 効果等	全庁の管理栄養士と連携して作成している為、乳幼児期から高齢期までの全てのライフステージへの食育啓発ができます。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	ホームページ画面 		

事業実績シート

取組の名称		食育パネル展	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	新型コロナウイルス感染症が流行下で、自粛等もあり食習慣の乱れや情報の錯綜がみられました。集まって行う教室等には制限がかかる中、「食」に関する知識や意識を高めるために、多くの目に留まるようにパネル展を実施しました。	
	対象者	市民、職員等	
	実施方法 内 容	バランスの良い食事・増やそう野菜の摂取量・減らそう食塩摂取量の3つのテーマの食育パネル展示。わかりやすい内容、具体的な量の掲示。 公民館展示の際は、地区の食生活改善推進員と連携して、地区活動の掲示してもらおう。地区によっては、子育て世代の食育情報、風邪予防など要望にあわせ、展示内容を追加。	
	連携団体等	前橋市食生活改善推進員、公民館	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）
		実施日：6月市庁舎 上川淵市民サービスセンター 7月粕川公民館 8月清里市民サービスセンター 9月東市民サービスセンター 回 数：5回	実施日：10月総社公民館 12月桂萱公民館 1月南橋公民館（中止） 2月宮城公民館（中止） 3月城南支所（予定） 回 数：5回
	期待される 効果等	食に関する知識や食育への関心の向上を目指し、広く市民の方への周知を図りました。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		

事業実績シート

取組の名称		健康のしおり	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5784
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる	
	目的	子どもから大人まで各世代に必要な健康情報を掲載した「健康のしおり」を毎月配布し、周知、啓発を図ることにより、市民の健康増進を推進します。	
	対象者	市民	
	実施方法 内 容	毎年関係各課と協議を行い、掲載内容の改善等を行っています。 配布には各自治会の協力をいただき、全戸配布（約145,000戸）しています。	
	連携団体等	各自治会、前橋市医師会、前橋市歯科医師会、庁内各課	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：4月1日号の広報と同時配布 回 数：年1回 人 数：145,000戸	下半期（予定） 実施日：随時（転入者等への配付） 回 数：随時 人 数：5,000世帯
	期待される 効果等	保健師・管理栄養士・歯科衛生士による健康相談など健康づくりに関することや各種検診（健診）、予防接種、医療機関一覧、休日診療所、救急医療情報等を掲載しており、市民に幅広く活用されることで、各健康関連事業の推進を通じて市民の健康増進に寄与しています。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	

事業実績シート

取組の名称		食育動画	担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる	
	目的	第3次前橋市食育推進計画の全体目標として掲げる「市民の健康寿命の延伸」を達成するため、食育動画を制作し、投稿することで一層の取り組みの展開を図ります。 また幼少期から高齢期まで幅広い年代を対象に、本市の栄養課題である朝食欠食・野菜の摂取不足等をテーマとした内容とすることで、多くの市民が食育に関心を持つことを目的とします。	
	対象者	市民	
	実施方法 内 容	本市の主要な栄養課題である朝食欠食・野菜の摂取不足等をテーマとし、テーマに沿った講話と調理風景をセットで5分程度の動画を配信します。	
	連携団体等		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期(予定含む) 実施日：1月、3月(予定) 回 数：2回 人 数：
	期待される 効果等	・食育に関心を持ち、自ら食生活の改善に取り組む ・将来の健康を意識する ・食に関する正しい知識の取得	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	サムネイル画像 	

事業実績シート

取組の名称		ごみ減量普及啓発事業 (第2次 G 活チャレンジ!)		担当課 <u>ごみ減量課</u> 問い合わせ先 027-898-6272	
概 要	基本目標	☐ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目 的	家庭で取り組んで欲しいごみ減量のための取り組みの周知啓発を行うなかで、課題の一つである食品ロスへの現状の理解・関心を高めることを目的としています。			
	対象者	市民			
	実施方法 内 容	・出前講座（座談会、バスツアーなど）での食品ロス削減の呼びかけ（実施なし） ・食べきり協力店登録制度 ・段ボールコンポストの母材配布			
	連携団体等	フードバンクまえばし			
実 績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期		
		実施日：随時 回 数：72個（母材） 2店舗（協力店） 人 数：37人（母材）	実施日：随時 回 数：1回（出前講座） 120個（母材） 人 数：14人（出前講座） 176個（母材） （1月4日現在）		
	期待される 効果等	食品ロスの知識の向上			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）				

事業実績シート

取組の名称		令和2年度粕川公民館 子育て親子支援事業 「ファミリー 手作りパン作り教室」		担当課 粕川公民館 問い合わせ先 027-285-3311	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	①新型コロナウイルスの感染症対策を取りながら、公民館又は家庭で楽しく学べる機会を提供します。 ②親子が共に学び、体験することで心豊かな親子関係をつくります。 ③調理技術と知識、道具の使い方などを学びます。 ④食育に関する知識を得ます。			
	対象者	小学生とその家族 4組15名まで ※1テーブルに1家族			
	実施方法 内 容	公民館利用サークル（自主学習グループ）の代表者を講師に迎え、調理実習をメインとした講座です。 1. 手洗い・消毒・注意事項の説明 2. 調理実習 3. 食育講話（野菜クイズ、食育〇×クイズ） 4. アンケート記入			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期		
		実施日： 回 数： 人 数：	実施日：令和2年12月13日（日） 回 数：1回 人 数：10名		
	期待される 効果等	①親子で楽しい時間を過ごし、良好な親子関係を築くことができます。 ②子どもに料理をする楽しさと家族で食べることの楽しさを知ってもらいます。 ③食への関心を高め、理解を深めます。 事後のアンケートでは、子どもからは「また、やってみたい。」「楽しかった。」という意見があり、大人からは「すごく勉強になりました。」「親子共々楽しい体験ができました。」という意見がありました。調理する楽しさや食への関心が向上したことがうかがえました。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		桂萱食育パネル展		担当課 桂萱公民館 問い合わせ先 027-261-0111	
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる			
	目的	桂萱公民館ロビーにて食育パネル展を開催し、地域住民に食事のバランスや野菜の摂取量、減塩についての正しい知識の習得や周知を図り、食への関心を高めることを目的とします。			
	対象者	桂萱公民館来館者等			
	実施方法 内 容	桂萱公民館にて実施 ①公民館ロビーに食育パネル展示 ②12月14日（初日）では桂萱地区食生活改善推進員や健康増進課管理栄養士による展示パネル並びに各種資料を用いての誰でも参加できるロビーレクチャーの実施			
	連携団体等	健康増進課、桂萱地区食生活改善推進員			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期	
		実施日： 回 数： 人 数：		実施日：令和2年12月14日 ～令和2年12月25日 回 数：1回 人 数：	
	期待される 効果等	地域住民に対して、身近な公民館にておこなう食育パネル展示により食事バランス、減塩等の大切さなどを広く周知することができ、食育についての興味や関心を高めることが期待できます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  食育パネル展示 ロビーレクチャー				

事業実績シート

取組の名称		減塩普及活動パネル展示		担当課 元総社公民館 問い合わせ先 027-251-2243	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	地域住民の健康づくりの一環として、減塩について理解を深めることを目的とします。			
	対象者	元総社地区住民及び窓口来訪の市民			
	実施方法 内 容	元総社地区食生活改善推進員会が作成したパネルをロビーに展示しました。また、公民館報でパネル展示を地域の全世帯に周知しました。			
	連携団体等	元総社地区食生活改善推進員			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日： 回 数： 人 数：		下半期（予定） 実施日：12月上旬～3月末 回 数： 人 数：	
	期待される 効果等	各食品に表示されている栄養成分表から食塩量の表示に着目してもらうことで、減塩に対する意識の啓発につなげ、食生活を通して地域の方々の健康づくりに寄与することが期待できます。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)				

事業実績シート

取組の名称		食育パネル展 (減らそう減塩・増やそう野菜の摂取量・バランスの良い食事を習慣に)		担当課 城南公民館 問い合わせ先 027-268-2111		
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる				
	目的	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、料理教室が開催できない中、食育パネルを展示することで地区住民に食育の知識と意識を育んでいただくことを目的とします。				
	対象者	公民館利用者・支所窓口来庁者				
	実施方法 内 容	健康増進課が公民館1階ロビーにパネル展示を行う予定。				
	連携団体等	城南地区食生活改善推進員				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期 (予定)		
		実施日： 回 数： 人 数：		実施日：令和3年3月15日～3月29日 回 数：1回 人 数：		
	期待される 効果等	食育知識の向上 食生活・生活習慣の改善 利用者同士の交流				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		食育パネル展		担当課 清里公民館 問い合わせ先 027-251-9005	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☐ つたえる ☐ まもる			
	目的	新型コロナウイルス感染予防のため調理実習等の講座開催が難しい中、パネルによる展示を通して、地域住民に対し、食育への関心や知識の向上と食生活の改善を図るための啓発を行うことを目的とします。			
	対象者	地域住民等来館者			
	実施方法 内 容	健康増進課から借用した教材と食生活改善推進員が作成した活動の記録を、公民館ロビーに設置したパネルに展示しました。			
	連携団体等	清里地区食生活改善推進員			
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：8月11日～8月23日 回数： 人数：		下半期（予定） 実施日： 回数： 人数：	
	期待される 効果等	食育の知識の向上、食育への関心の向上、食生活の改善、食生活改善推進員の活動への理解 バランスの良い食事例や野菜の摂取量の目安が、写真や手作りの作品でディスプレイされていて、分かりやすく参考になったとの感想をいただきました。また、地区食生活改善推進員の取り組みを紹介したことにより、日頃の活動の様子を地域の方に知っていただけるよい機会となりました。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)				

事業実績シート

取組の名称		給食時の学校訪問	担当課 学校教育課 問い合わせ先 027-898-5862
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる	
	目的	何気なく食べている朝食、その朝食についての大切さを再確認すると共に、今後もしっかり食べようとする意欲を持たせ実践していくことを目指すことを目的としています。	
	対象者	市内中学生	
	実施方法 内 容	給食時間の指導として実施 1 体の中を食べ物が移動する図（図1） 2 朝食から昼食まで、昼食から夕食まで、夕食から朝食までの間隔時間の図（図2） 3 朝食を食べないとどんな症状が出てくるかの図（図3） 4 1～3の図を用いて講話	
	連携団体等	教育委員会事務局総務課・学校栄養職員	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日： 回 数： 人 数：	下半期 実施日：9月～10月 回 数：4回 人 数：122人
	期待される 効果等	食育の知識の向上、食育への関心の向上、健康増進、運動への意識の向上 食べた物は体の中で消化吸収されながら時間とともに移動していきます。そのことを視覚的にとらえ、朝食を摂取しない場合はどのような弊害がoccurするのかについても知ることができました。これらをふまえ、今後も朝食を食べようとする意欲をもたせることができたと思います。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	   <図1> <図2> <図3>	

事業実績シート

取組の名称		「食に関する指導」情報交換会		担当課 学校教育課 問い合わせ先 027-898-5862	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	コロナ禍において各校（園）で取り組んでいる食に関する指導の実践例の情報交換を行う。各校（園）の取組状況を知るとともに、共同調理場から食に関わる情報提供の場を設け、食に関する具体的な指導の工夫と各校（園）の取り組みの改善を図ることを目的としています。			
	対象者	市内小中特別支援学校及び幼稚園の先生			
	実施方法 内 容	学校栄養職員が総合教育プラザに集まり、学校栄養職員を中心に各配給校の先生（6～9人）がオンラインによりコロナ禍における各校の「食に関する指導」の取組の情報交換を行いました。			
	連携団体等	教育委員会事務局総務課・学校栄養職員			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期	
		実施日： 回 数： 人 数：		実施日：令和2年11月26日 回 数：1回 人 数：80人	
	期待される 効果等	コロナ禍における各校（園）の取組を共有することにより、今後の各校（園）での「食に関する指導」の取組の充実に資することができます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	 <全体会の様子>  <オンラインによる情報交換>				

事業実績シート

取組の名称		食育集会		担当課 学校教育課 問い合わせ先 027-898-5862	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	児童が給食の大切さを理解したり、好き嫌いしないで残さず食べようとしたりする児童を育てることを目的としています。			
	対象者	市内小学生			
	実施方法 内 容	食育集会をリモートで行いました。 調理場の様子やなんでも食べることの大切さについての資料を栄養教諭が作成し、児童に向けて実施しました。			
	連携団体等	教育委員会事務局総務課・学校栄養職員			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期	
		実施日： 回 数： 人 数：		実施日：令和2年10月1日 回 数：1回 人 数：576人	
	期待される 効果等	・好き嫌いしないでなんでも食べようとする意欲を育て、食べ残しを減らすことができると思います。(健康増進) ・自分たちが食べている給食の様子を知ること、給食の大切さや感謝の気持ちを持つことができると思います。(感謝の心)			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <栄養教諭が児童に向けて実施>  <教室の様子>				

事業実績シート

取組の名称		生徒集会		担当課 学校教育課 問い合わせ先 027-898-5862	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	成長期に必要な栄養や毎日バランスの良い食事をする事の大切さを伝えることを目的としています。			
	対象者	市内中学生			
	実施方法 内 容	給食委員会の生徒が、委員会活動の一環としてリモートで行いました。成長期に必要な栄養や毎日バランスの良い食事をする事の大切さを伝えるため栄養教諭が資料を作成し、実施しました。			
	連携団体等	教育委員会事務局総務課・学校栄養職員			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期	
		実施日： 回 数： 人 数：		実施日：令和2年10月15日 回 数：1回 人 数：216人	
	期待される 効果等	成長期に必要な栄養を知り、毎日バランスのよい食事をする事の大切さを知り、実践してみようとする意欲が育まれると考えます。(健康増進)			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 <給食委員会の生徒が全校生徒に向けて実施>  <教室の様子>				

事業実績シート

取組の名称		給食時の学校訪問		担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809		
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる				
	目的	学校給食を教材とした食育指導を行い、児童生徒の心身の健全な発達や食に関する正しい理解と適切な判断力を養います。				
	対象者	市立小中学校の児童生徒				
	実施方法 内 容	年間訪問計画に基づき、共同調理場の栄養士が給食時に学校を訪問し、食育について5分間指導を実施します。 ※給食時以外にも要望のあった学校については放送やリモートでの指導を実施。				
	連携団体等	学校教育課				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回 数：なし 人 数：		下半期（予定） 実施日：10月～3月 回 数：約30回 人 数：		
	期待される 効果等	・食育への関心と知識の向上 ・食生活・生活習慣の改善 ・食文化への理解 ・食の安全への意識の向上 ・食事の楽しさの増進 【食育テーマ】 朝食の大切さについて、野菜のパワーを知ろう 等				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		敷島浄水場 施設見学における水道水への理解		担当課 浄水課 問い合わせ先 027-231-3075
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■つたえる □まもる		
	目的	毎日の健全な食生活を送るためにはかかすことのできない水道水を、いかに安全で安定して供給しているかということへの理解を深めることを目的としています。		
	対象者	市内小学生、市民		
	実施方法 内 容	市内小学生における社会科見学や市民（自治会等の団体）の施設見学により、水道水が毎日の暮らしや食生活などとも密接した、大切なライフライン、貴重な資源であること、また安全・安心な水道水を供給する仕組みなどを説明しています。		
	連携団体等	経営企画課、水道整備課		
実績	実施日 回数 人数等	上半期 実施日：4月～9月 回数：3回 人数：160人	下半期 実施日：10月～12月 回数：12回 人数：716人	
	期待される 効果等	毎日の健全な食生活を送るためにかかすことのできない水道水が、安全で安定して供給しつづける仕組みを理解してもらえます。安心して水道水を飲んでもらえます。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	8月末までコロナウィルス対策により、小学校の見学はありませんでした。市民の見学は1件もありませんでした。		

事業実績シート

取組の名称		地域づくり協議会が行う食育関連事業		担当課 生活課
				問い合わせ先
				027-898-6510
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる		
	目的	地域づくり協議会が地区の様々な団体と連携を図りながら食育事業を推進している事業をとおして地産地消・郷土食など食育に関心を持てるようになることを目標とします。		
	対象者	市内の各地区に住む住民（小学校期・青年期・壮年期・高年期）		
	実施方法 内 容	各地区の地域づくり協議会が食に関連する部会を設けて、地区の事業として実施している。（一部協力） ・みやぎ地域づくり交流会 三夜沢あずきの栽培・普及活動 ・中川地区地域づくり協議会 そばうち体験講座		
	連携団体等			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期	
		実施日：8/1・2、9月中 （みやぎ地区） 5/24、7/25・26（清里地区） 回 数：3回（みやぎ地区）、 3回（清里地区） 人 数：延べ9人（みやぎ地区） 延べ60人（清里地区）	実施日：10/19、11/8・15、 12/6（みやぎ地区） 11/29（中川地区） 回 数：4回（みやぎ地区） 1回（中川地区） 人 数：延べ21人（みやぎ地区） 24人（中川地区）	
	期待される 効果等	地域を見つめなおす中で伝統的な食材、郷土食の普及を行っているが、その取組が地域内の交流を高める要素もあり、一部ではあるが地域を越えた広がりもみられ、食育を通じた地域間交流も期待できる。		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）			

事業実績シート

取組の名称		T-1 Presents TONTON Go とんチャレンジの開催		担当課 観光振興課 問い合わせ先 027-210-2189	
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる			
	目的	まえばし豚肉料理No.1決定戦「T-1グランプリ」の開催など、「TONTONのまち前橋」の取り組みを進めることで、地域でとれる農産物を生かした料理、メニューの開発、地元農産物の普及と紹介に努めてきた。本年度は市内の豚肉料理提供店への誘客を図り、本市の豚肉料理の魅力を伝える。			
	対象者	前橋市民、本市を訪れる方			
	実施方法 内容	市内の豚肉料理提供店を対象に、各店のおすすめ豚肉料理を紹介。3店舗以上めぐると参加できるミニゲームを実施し、誘客を図りつつ前橋の豚肉料理の魅力を伝える。実施に当たっては参加店舗を県「ストップコロナ！対策認定店」であることを条件とし、安全・安心な食の場を提供する。			
	連携団体等	ようこそまえばしを進める会、T-1グランプリ実行委員会			
実績	実施日 回数 人数等	上半期	下半期（予定）		
		実施時期、実施内容の検討	キャンペーン期間： 令和3年1月20日～3月31日		
	期待される 効果等	人との交流の促進、食文化への理解の向上、食事の楽しさの増進。 平成31年度は660票の一般投票、104名の覆面審査員による審査が行われるなど、市内はもちろん、市外からも多くの方に参加していただき、本市を代表するグルメイベントとなっている。また、T-1グランプリを通じて、「TONTONのまち前橋」のPRを行っている。Goとんチャレンジについても、同様の効果が期待される。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	  				

事業実績シート

取組の名称		TONTONのまち前橋グルメブックでの周知、加盟店舗の普及	担当課 観光振興課 問い合わせ先 027-210-2189
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■つたえる □まもる	
	目的	地産地消の推進に向けて、「TONTONのまち前橋」加盟店舗の参加を呼びかける。また、群馬県産豚肉を食材とした料理を提供している「TONTONのまち前橋」加盟店舗の普及を図る。	
	対象者	前橋市民、本市を訪れる方	
	実施方法 内容	民間委員で組織する「ようこそまえばしを進める会」の委託事業として実施。 群馬県産豚肉を食材とした料理を提供している「TONTONのまち前橋」加盟店舗を、「豚肉料理グルメブック」や「TONTONのまち前橋」ホームページにてPR。加盟店舗の参加・普及を図るため、「TONTONのまち前橋」の周知を図る。	
	連携団体等	ようこそまえばしを進める会	
実績	実施日 回数 人数等	上半期 ■ TONTONのまち前橋グルメブックのクーポン有効期限延長と周知	下半期 ■ TONTONのまち前橋加盟店の継続的な募集・周知
	期待される 効果等	人との交流の促進、食文化への理解の向上、食事の楽しさの増進、食育の知識の向上。 「TONTONのまち前橋」加盟店舗は現在92店を数え、加盟店舗を掲載した「豚肉料理グルメブック」は、市内はもちろん市外への前橋グルメPRに活用している。 また、豚肉料理の健康への効果や、地域で飼育された豚肉の美味しさを伝えている。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 	

事業実績シート

取組の名称		郷土料理講習会		担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	粉食文化が根付く前橋市の郷土料理の数々を広めるため、市民を対象にした郷土料理講習会を実施し、伝統食文化の伝承、スローフード及び地産地消の推進を図ります。 また、調理実習を通じて、地産地消センターの利用促進を図ります。			
	対象者	市内在住の市民			
	実施方法 内 容	前橋市地産地消センター職員へ講師を依頼し、同施設にて実施します。 ・前橋産小麦粉を使用した炭酸まんじゅうと手打ちうどんの調理実習 ・アンケート			
	連携団体等	前橋市農業協同組合			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期		
		実施日： 回 数： 人 数：	実施日：10月2日、8日 回 数：2回 人 数：16人（8人×2日間）		
	期待される 効果等	調理技術の向上、食文化への理解の向上、地産地消の推進。 昨年度の事業実施後のアンケートでは、講習会で作った郷土料理を家でも作りたいという意見も多いため、郷土料理をより身近に感じてもらうことができると同時に、世代を超えた市民交流の場としての効果も期待されます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		赤城の恵ブランド推進事業	担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841
概要	基本目標	☐ つくる ☐ はぐくむ ☒ つたえる ☒ まもる	
	目的	遊休農地解消作物や前橋ブランドとなりうる作物の作付けの推進を図り、差別化された付加価値のある農林水産物や加工品について普及啓発活動等に取り組み、遊休農地の解消と併せ、赤城の恵ブランド認証制度の普及推進や農商工連携による認証品の創出を通じた農業振興を目標としています。	
	対象者	市内外の方々	
	実施方法 内 容	前橋市赤城の恵ブランド認証制度実施要綱に基づき実施しています。 ・赤城の恵ブランド認証品の募集・決定（年2回） ・赤城の恵ブランド認証品の広報まえばしや市ホームページ等での周知 ・赤城の恵ブランドの認知度向上、販路拡大を目的とした各種イベントの実施 ・認証品の生産者等に対する、食品衛生や適正な食品表示等についての周知啓発活動の実施	
	連携団体等	生産者、前橋市赤城の恵ブランド認証受証者、前橋市農業協同組合、群馬県卸酒販（株）、（公財）前橋観光コンベンション協会、前橋商工会議所、群馬県中部農業事務所、前橋市農業委員会、未来の芽創造課、観光振興課、産業政策課、にぎわい商業課	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 ・新規認証決定品数：2件 ・6/9～6/28ギフト商品の通信販売（送料無料） ・9/19～10/11市内7飲食店との連携 ・その他認証品の普及促進活動の実施	下半期（予定） ・11/20～12/20ギフト商品の通信販売（送料無料） ・市内飲食店との連携等、その他認証品の普及促進活動 ・認証者を対象とした各種講習会の実施
	期待される 効果等	食育の知識向上、食育への関心の向上、食文化への理解の向上、食の安全への意識の向上、人との交流の促進。 赤城の恵ブランド認証品は、前橋産農林水産物やそれらを原材料に使用する加工品のうち、食の安全・安心や地産地消に取り組む品質の良いものとして、厳しい審査で選ばぬかれたものです。「赤城の恵ブランド認証品」を多くの市民の方に知っていただき、手にとっていただくことは、前橋産農林水産物への理解を深めることにつながるため、継続的に「赤城の恵ブランド認証品」の認知度の向上、販路拡大に努めていきます。	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 9.19sat-10.11sun 赤城の恵 × 飲食店コラボ 市内7飲食店と連携して提供した、認証品のぶどうを使用したメニュー 贈る、赤城の恵 Winter GIFT 赤城産農産物の味がする。 Aki no Megumi 市・赤城の恵 百選百選 送料無料でギフトキャンペーン	

事業実績シート

取組の名称		伝統野菜づくり事業		担当課 農政課 問い合わせ先 027-898-5841	
概要	基本目標	□つくる □はぐくむ ■ つたえる ■まもる			
	目的	前橋北部地区で栽培されている伝統野菜及び時沢大根を育成するため、整地から種まき、収穫、加工を行い、農業にふれあうことで、農業に対する理解と地域農産物の消費拡大を推進し、農業の振興、地産地消の推進をはかるとともに、伝統野菜の伝承していくこと。			
	対象者	市内在住・在勤の方			
	実施方法 内 容	生産者団体等と連携して実施 農業に触れ合うことによる農業への関心と食文化への理解の向上を目指して、各団体が主催する農業体験の運営費補助を実施			
	連携団体等	農事組合法人「味菜」、富士見商工会（時沢大根復活プロジェクト）			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）		
		さつま芋植え付け（6/7） 宮内菜種まき（9/6） 上泉大根種まき（9/6） 時沢大根種まき（9/6）	さつま芋 収穫（参加者各自） 時沢大根 収穫（11/21） たくあん漬け（11/28、29） 上泉大根 収穫（11/23） たくあん漬け（12/6） 宮内菜 収穫（2/20～）		
	期待される 効果等	食文化への理解向上、地産地消の推進、農業への関心の向上、前橋産農産物の消費拡大、人との交流の促進。 伝統野菜の植え付け、種まきから収穫まで、一連の農業体験の運営を支援することで、幅広い世代の方に食文化と農業への関心向上が期待できます。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）	  さつま芋植え付け たくあん漬け				

事業実績シート

取組の名称		農政課と連携した食情報発信		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	☒ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	農政課と連携して前橋の農産物の情報やレシピを発信することで、農産物消費増加、農産物直売所利用促進、野菜摂取量増加を図ります。			
	対象者	市民			
	実施方法 内 容	SNS ツール（前橋市公式 Facebook）にて食に関する情報発信を行いました。農政課からは旬の農産物情報と市内農産物直売所の利用促進のお願い、健康増進課からは、農政課で提供した情報に合わせ、農産物の栄養情報、レシピや料理写真を提供しました。			
	連携団体等				
実績	実施日 回 数 人数等	上半期 実施日：6月25日、7月20日、 8月20日、9月25日 回 数：4回 人 数：		下半期（予定） 実施日：10月23日、11月20日、 12月18日、1～3月（予定） 回 数：6回 人 数：	
	期待される 効果等	市民の前橋産の農産物への興味関心を引き付け 農産物の消費増加 農産物直売所の利用促進 野菜摂取量の増加等の相乗効果 担当課が持つ情報（農産物情報、栄養情報、レシピ等）を連携して情報発信することで、市民の興味を引き付け、購買意欲や健康志向等への関心を高め、相乗効果が期待できます。			
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	10月 Facebook 投稿記事     			

事業実績シート

取組の名称		前橋産の農畜産物を使用したレシピ集の作成		担当課 健康増進課 問い合わせ先 027-220-5783	
概要	基本目標	■つくる ■はぐくむ ■ つたえる □まもる			
	目的	地産地消の普及を目的とし、前橋産の農畜産物を使ってレシピを作成します。バランスのよい食事、野菜摂取の啓発等の食育推進を図ります。			
	対象者	市民			
	実施方法 内 容	前橋産の農畜産物を使用した簡単に作ることができるレシピを管理栄養士が考案し、レシピ集にします。レシピ集の中に食材の情報や食の知識も掲載し、食育の推進をします。			
	連携団体等	農政課			
実績	実施日 回数 人数等	上半期		下半期（予定）	
		実施日： 回数： 人数：		実施日： 回数：1回 人数：1,500部	
	期待される 効果等	前橋市産の農畜産物を使用することで、地産地消を実施する市民の増加が期待されます。また、レシピ集を使って料理することで野菜を多く摂取することができるので、生活習慣病の予防にもつながります。			
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)					

事業実績シート

取組の名称		食に関する情報提供		担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809	
概要	基本目標	☐ つくる ☐ はぐむ ☒ つたえる ☐ まもる			
	目的	様々な広報媒体を活用して、学校給食に関する情報を提供・発信することで、学校給食への理解を深め、食育への興味や関心を高めます。			
	対象者	市立小中学校の児童生徒、児童生徒の保護者			
	実施方法 内 容	毎月、給食だよりや献立表・アレルギー詳細献立表を作成して情報を提供します。 また、前橋市の学校給食の魅力をPRするため、SNSを活用して給食の写真や献立内容、栄養士による説明などを発信します。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校・分散登校により、給食が提供されなかった期間（4月13日～6月12日）を除きます。 【情報提供の方法】 ① 学校を通して家庭に配布 ② 市ホームページに掲載 ③ Facebookに掲載			
	連携団体等	学校教育課			
実績	実施日 回 数 人数等	上半期		下半期（予定）	
		実施日：随時（給食提供のない期間を除く） 回 数：給食だより⇒月1回、計4回 市ホームページ⇒4回 Facebook⇒2回		実施日：随時 回 数：給食だより⇒月1回、計6回 市ホームページ⇒6回 Facebook⇒7回	
	期待される 効果等	食育への関心の向上、食文化への理解、学校給食への不安の軽減・解消			
実績	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	 			

事業実績シート

取組の名称		地産地消の推進		担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809		
概要	基本目標	☐ つくる ☒ はぐくむ ☒ つたえる ☐ まもる				
	目的	学校給食に地場産農畜産物を取り入れることで、児童生徒の食育への関心と地域の食文化への理解を深めるとともに、学校給食への愛着心を育むことで、食べ残しを減少させます。				
	対象者	市立小中学校の児童生徒				
	実施方法 内容	地元の生産者等と情報交換を行い、身近な旬の地場産農畜産物を給食に使用します。また、地場産の食材を使った新メニューを考案・作成して給食献立に反映させます。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校・分散登校により、給食が提供されなかった期間（4月13日～6月12日）を除いた実績となります。				
	連携団体等					
実績	実施日 回数 人数等	上半期		下半期（目標）		
		【野菜地産地消率（重量ベース）】 群馬県産 47.19% （内、前橋産 30.81%） ※前橋産100%：米、鶏卵、牛肉 群馬県産100%：豚肉、牛乳		【野菜地産地消率（重量ベース）】 前橋産 43.00%（目標）		
	期待される 効果等	・食育への関心と知識の向上 ・残食の減少				
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 （あれば）					

事業実績シート

取組の名称		行事食と郷土食の提供		担当課 教育委員会総務課 問い合わせ先 027-898-5809
概要	基本目標	□つくる ■はぐくむ ■ つたえる □まもる		
	目的	児童生徒に地域の伝統行事に関連する行事食や郷土食を学校給食で提供し、伝統文化の大切さを伝え、地域の優れた食文化への理解を深めます。		
	対象者	市立小中学校の児童生徒		
	実施方法 内 容	季節に応じた行事食や郷土食を学校給食の統一献立として毎月1回程度提供し、校内放送等で由来を説明・紹介することで食育指導を行います。 ※新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休校・分散登校により、給食が提供されなかった期間（4月13日～6月12日）を除いた実績となります。		
	連携団体等	学校教育課		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）	
		【行事食】 4月 入学祝い 7月 七夕まつり 9月 残暑をのりきる献立	【行事食】 10月 学校給食ぐんまの日 11月 勤労感謝の日 ぐんますき焼きの日 12月 冬至 1月 学校給食週間 2月 節分 3月 ひなまつり・卒業祝い 【郷土食】 きしめん、みそカツ、のっぺい汁、どさんこ汁、きりたんぽ汁、ほうとうなど	
	期待される 効果等	・食文化への理解の向上 ・食への興味、関心の向上		
取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)	【行事食の献立内容】 学校給食ぐんまの日 ・赤飯（ごま塩） ・たまご焼き ・和え物 ・t o n t o n 汁 ・牛乳			



事業実績シート

取組の名称		給食施設巡回指導及び研修会		担当課 衛生検査課 問い合わせ先 027-220-5778
概要	基本目標	☐ つくる ☐ はぐくむ ☒ つたえる ☒ まもる		
	目的	給食管理の適切な指導及び助言を行うことにより、喫食者の栄養管理、健康増進の維持向上を図ります。 病院等の大量調理施設に対し衛生管理指導を行うことにより、集団食中毒を未然に防止します。		
	対象者	給食施設設置者及び給食関係従事者		
	実施方法 内 容	市内給食施設を定期的に巡回し、栄養管理及び衛生管理についての書類確認や現地調査を行い、指導及び助言をします。 給食関係従事者に対し研修会を行い、栄養管理及び衛生管理に関する情報提供を行います。		
	連携団体等	特になし		
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）	
		【巡回指導】 実施日：6～7月、9月 回 数：32施設	【巡回指導】 実施日：10～11月、1～2月 回 数：10～11月 31施設 1～2月 19施設予定 【研修会】 実施なし	
	期待される 効果等	・給食利用者の健康保持増進 ・給食利用者の食育推進 ・安全な給食の提供		
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)			

事業実績シート

取組の名称		食品衛生講習会	担当課 衛生検査課 問い合わせ先 027-220-5778
概要	基本目標	☐ つくる ☐ はぐくむ ☐ つたえる ☒ まもる	
	目的	講習会を通して、市民や給食施設従事者等に対し食品の衛生的な取り扱いや食中毒等の食品衛生に関する正しい知識の普及啓発を図ります。	
	対象者	市民、給食施設従事者	
	実施方法 内 容	(1) 前橋市保健所×マエテク 「テイクアウト・お弁当の違いと衛生管理について」 (2) 出前講座（食中毒予防について） 「食中毒予防について」	
	連携団体等	(1) 前橋街中テイクアウト連絡会 (2) 生涯学習課	
実績	実施日 回 数 人数等	上半期	下半期（予定）
		【前橋市保健所×マエテク】 5/26・6/8 マエテク関係者、一般消費者45人 【それいけ！まえばし出前講座】 6/1・7/31 社会福祉施設職員等32人	10～12月 実施なし 1月15日 全農ぐんま「HACCP・食品表示講習会」予定 食品表示関連部署及び関連事業担当者15～20人
	期待される 効果等	・食中毒や衛生管理に関する知識の向上 ・食品の安全確保の促進	
	取組み様子 ・写真 ・イラスト ・グラフ等 (あれば)		